南アルプス市 平成 24 年度

## 事務事業マネジメントシート (兼)予算編成資料·実施計画資料 審議会運営事業 所属部局

建設部 単位番号

			都市計画第	F議会運営事業		<b>所属部局</b>		建設部		位番号	7038	
事務事業名			田門 田川田	「成五年百甲木		所属課室	者	市計画課	Ē	課長名	齊藤 貞文	-
				Γ	■ 実施計画事業	所属担当		計画担当	拒	当者名	三椚 武	
44 1 -1 44	<b>₩</b> I	II					会計		款	項目		日々目
基本政策	坐	11	うるおいと利便性	とのある都市づく!	9	予算科目	01	一般	08			02
	本											
政策		.5	市街地•住環境(	の整備				]の制度による			設等維持管理	
₩ <b>Ж</b>	画		11/2/2 12/5/5	> 1E. VIII		事業区分	_ 県	の制度による	5義務的	」事業 □ 補	助金交付事業	
		24 計画的な土地利用の推進					● 市の制度による義務的事業 □ その他の					
施策	系		計画的な土地利	用の推進			義	務化されてし	る協議	会等の負担金	7	
	<b>□</b> #4	年度のみ	み ▼ 単年度繰過	豆 (閂松年度	15 年度)		- 32	17371004000	O DIJUTA	Z 17 07 50 12 12	-	
事業期間				2 (開知牛皮		法令根拠	都	市計画法第7	7条の2	2		
			复数年度 (	~	年度)							
			<b>丰度事業は次年度以</b>			事業費の主	は内部	く ( 24年)	度 決算	算見込 )		
			7条の2第1項の規定			項目(細質	節)	金額(千円	])	項目(細節)	金額(千	円)
			び市長の諮問に応し			委員報酬			62			
業するため設置され	た機関で	である。ヨ	現行の委員数は18	名で、学識経験者、	,市議、関係行政				:			
の機関及び市民で構	<b>構成され</b>	ており、	審議会を円滑に運	営するため、日程や	P会場の調整、事							• • • • • • • • • • • • • • • • • • • •
概前資料の作成、諮	問•答申	ほ関す	る事務、報酬の支持	ムいに関する事務を	と行っている。			••••••••••				• • • • • • • • • • • • • • • • • • • •
要										<b>1</b>		162
								<u>:</u>		рΙ	<u>:</u>	102
1 現状把握(D	0)											
(1) 事務事業の目的	りと指標	<u> </u>										
① 活動		-				⑤ 活	動指標	三(事務事業)	の活動量	まままお押)	数字は記入した	tr1 \
	禾昌池	アル	であるため、委員の	選4.及び禿嘱式を	・行い 特殊建築物	<u></u>	יו דו ויב	名称	//U 3/) <del>I</del>	EC 32 7 JOIN/	<del>数」に記入し、</del> 当仕	6.0
24年度活動実績			て審議を行い、その			<b>7</b> #7	去針高	画審議会の	里/房/司》	kŀr	<b>単位</b> 回	• • • • • • • • • • • • • • • • • • • •
						▎⇛⇂⇗⇡⇮↱	1111111	当番成五ック	刑阻凹刻	XX	E	
25年度活動予定	現仕版	歳中の	案件である特殊建築	と物の位置につい	(の番譲と、 新厅害	1,1,1,						
			捗状況に合わせ、			<u>ウ</u>	<del>-</del> 114.15			<u>.</u>		
② 対象(この事務事	手業は	淮、何る	と対象にしているの	<b>ルか)*人や目</b> 然	<b>公</b> 食源等	(6) 対	<b>累指</b> 標	票(対象の大き	さを表す	<mark>す指標)数字(</mark>	は記入しない	
						l L		名称			単位	
都市計画区域						<b>→</b>   ア 都	市計画	画区域の面積	責		ha	
和川可圖区域						<b>~</b>   1						
						ウ						
③ 意図(この事務事	業により	対象を	どのような状態にし	ていくのか、どのよ	うに変えるのか)	(7) 成	果指標	票(対象におけ	る意図の	達成度を表す	5標)数字は記入	した
						<u></u>	1.7.4.17.17	名称	····		<sup>指標)</sup> 数字は記入 単位	
						マ 故	業項目	10数			———— 件	
都市計画に関する調査	査及び箸	F議する	事により、効率的な	整備が推進される。		▎⇛⇂⇗ः᠁	HX X F	→ ° 2 9A				• • • • • • • • • • • • • • • • • • • •
						-   -						• • • • • • • • • • • • • • • • • • • •
⚠ トは日め(じの)	トニナン公	日田ノー気	±15/+1+2のか)			·):	1.1.1.1.1.1.1.1.1.1.1.1.1.1.1.1.1.1.1.	日 七十一 / 4十 日 .	のませば	= + + + + + + = *	***	+~! ^
④ 上位目的(どの。	トフは布	未に前	言いかけるのか)			<u>® E</u>	<b>业</b> 成ま	大打惊(結果)	ル達成は	せて表す 指標	数字は記入した	ない
+ (-) () -m (+) (-)				# N				2000			単位	
良好な住環境を保全で	するととも	っに、計	画的な土地利用を持	推進する。		<b>→</b>   ア 南ア	ルプス市	iが住みやすい地	域だと回答	した人の割合	%	
						1 1						
			23年度	24年度	25年度	· [イ <u>:</u>		27年度		28年度	▋最終	王度
(2) 事業費・指標の	推移	単位	23年度	24年度	25年度	<u> 26年度</u>	煙)	27年度		28年度	- 2-7 7	
日中			23年度 (決算・実績)	24年度 (決算見込·実績)	25年度 (予算・目標)	· [イ <u>:</u>	標)	27年度 (計画·目標)	(	28年度 (計画·目標)	最終ないた。	年度
年 財 国庫支	出金	千円				<u> 26年度</u>	標)		(		- 2-7 7	
年 財 国庫支出	出金	千円				<u> 26年度</u>	標)		(		- 2-7 7	
年 財 国庫支出事 源 地方	出金 1金 債	千円 千円 千円				<u> 26年度</u>	標)		(		- 2-7 7	
年 財 国庫支 財 原文出 東方	出金 1金 債	千円				<u> 26年度</u>	標)		(		- 2-7 7	
年 事 事 カ 大 大 サ カ ボ 大 大 サ カ カ カ カ カ カ カ カ カ の の の の の の の の の の の の の	出金量金属	千円 千円 千円 千円	(決算・実績)	(決算見込・実績)	(予算・目標)	7 【イ! 26年度 (次年度計画・E	80	(計画・目標)	30	380	- 2-7 7	目標
年 事 井 ホ ホ ホ カ カ カ カ カ カ カ カ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	出金量金属	千円 千円 千円	(決算・実績)	(決算見込·実績)	(予算・目標)	7 【イ! 26年度 (次年度計画・E		(計画・目標)	30	(計画・目標)	- 2-7 7	
年 事業費 本 事業費 本 を の ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	出金 情 他 (A) 事人数	千円 千円 千円 千円 千円	(決算・実績)	(決算見込・実績)	(予算・目標)	7 【イ! 26年度 (次年度計画・E	80	(計画・目標)	30	380	- 2-7 7	目標
年間トータルコータルコータルコータルコータルコータルコータルコータルコータルコータルコ	出金 情 他 (A) 事人数	千円 千円 千円 千円 千円	(決算·実績) 267 267	(決算見込·実績) 380 380	380 380	7 [イ] 26年度 (次年度計画・E	80 80	(計画・目標)	30 30	380	- 2-7 7	目標
年 財源 国庫支出 地方 その 一般 事業費計 人 正規職員従事	出金 債 他 才源 (A) 事人数	千円 千円 千円 千円 千円	(決算·実績) 267 267 2 27	(決算見込·実績) 380 380 2	(予算·目標) 380 380 2	イミ   イミ   26年度   (次年度計画・E   3   3   3	80 80 2	(計画・目標)	80 80 2	「計画・目標) 380 380 22	- 2-7 7	目標
年間トータルコータルコータルコータルコータルコータルコータルコータルコータルコータルコ	出金 債 他 才源 (A) 事人数	千 千 千 千 千 千 千 千 千 千 千 千 千 十 十 十 十 十 十 十	(決算·実績)  267 267 267 260 238	(決算見込·実績) 380 380 380 2 60	(予算·目標) 380 380 2 60	イミ   26年度 (次年度計画・E   3   3   3   3	80 80 2 60	(計画·目標) 38 38 38	80 80 2	380 380 380 60	(トータルコスト・	0
年間 事業費 事業費 事業費 下の 一般 事業 大件 大件費 大件費 大件費	出金 計金 情 他 才源 (A) 事人数 等間 (B)	千 千 千 千 千 千 千 千 千 千 千 千 千 千 千 千 千 千 千	(決算·実績)  267 267 267 260 238	(決算見込·実績)  380  380  380  20  60  238	(予算・目標) 380 380 2 60 238 618	イミ   26年度 (次年度計画・E   33   3   3   3   4   4   4   4   4	80 80 2 60 38	(計画·目標) 38 38 38 ( 23 6)	30 30 2 50 38	380 380 380 2 60 238	(トータルコスト・	目標 0 0
年間 事業費 本で 一を設計 本で 事業費 本で 一を設計 本で 一を設計 本で 一を設計 本で の 一を設計 本で の 一を設計 (A)+(B)	出金 は金 債 他 が源 (A) 事時間 (B)	千円 千円 千円 千円 千円 千 十 十 十 十 十 十 十 十 十 十 十 十	(決算·実績)  267 267 267 2 60 238 505	(決算見込·実績)  380  380  20  60  238  618	(予算・目標) 380 380 2 60 238 618	イミ   26年度 (次年度計画・E   33   3   3   3   4   4   4   4   4	80 80 2 60 38	(計画·目標) 38 38 38 ( 23 6)	30 30 2 30 38 88	380 380 380 2 60 238 618	(トータルコスト・	目標 0 0
年間 事業費 事業費 事業費 下の 一般 事業 大件 大件費 大件費 大件費	出金 は金 債 他 が源 (A) 事時間 (B)	千円 千円 千円 千円 千円 千 十 十 十 十 十 十 十 十 十 十 十 十	(決算·実績)  267 267 267 2 60 238 505	(決算見込·実績)  380  380  20  60  238  618	(予算・目標) 380 380 2 60 238 618	イミ   26年度 (次年度計画・E   33   3   3   3   4   4   4   4   4	80 80 2 60 38	(計画·目標) 38 38 38 ( 23 6)	30 30 2 30 38 88	380 380 380 2 60 238 618	(トータルコスト・	0 0
年間 事業費 本で 一を設計 本で 事業費 本で 一を設計 本で 一を設計 本で 一を設計 本で の 一を設計 本で の 一を設計 (A)+(B)	出金 情他 が(A) 事情(B) アイウ	千円 千円 千千円 千千八 時 十千 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	(決算·実績)  267 267 267 260 238 505 3.0	380 380 380 2 60 238 618	(予算・目標) 380 380 2 60 238 618 3.0	イミ   イミ   26年度   (次年度計画・E   3   3   3   6   6	80 80 2 60 38 18	(計画·目標) 38 38 38 6 23 61	30 30 2 30 38 8 8	380 380 380 2 60 238 618 3.0	(トータルコスト・	0 0
年間 事業費 大山 事業費 本でである。 「国庫支出方の でである。」 「本での での での での での での での での での での	出金 債 他 が源 (A) 事時間 (B)	千円 千円 千円 千円 千円 千 十 十 十 十 十 十 十 十 十 十 十 十	(決算·実績)  267 267 267 2 60 238 505	(決算見込·実績)  380  380  20  60  238  618	(予算・目標) 380 380 2 60 238 618 3.0	イミ   イミ   26年度   (次年度計画・E   3   3   3   6   6	80 80 2 60 38 18	(計画·目標) 38 38 38 ( 23 6)	30 30 2 30 38 8 8	380 380 380 2 60 238 618	(トータルコスト・	0 0
年間 事業費 本で 一を設計 本で 事業費 本で 一を設計 本で 一を設計 本で 一を設計 本で の 一を設計 本で の 一を設計 (A)+(B)	出金 債 他 が源 (A) 事時間 (B)	千円 千円 千千円 千千八 時 十千 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	(決算·実績)  267 267 267 260 238 505 3.0	380 380 380 2 60 238 618	(予算・目標) 380 380 2 60 238 618 3.0	イミ   イミ   26年度   (次年度計画・E   3   3   3   6   6	80 80 2 60 38 18	(計画·目標) 38 38 38 6 23 61	30 30 2 30 38 8 8	380 380 380 2 60 238 618 3.0	(トータルコスト・	0 0
年間 事業費 大山 事業費 本でである。 「国庫支出方の でである。 一でである。 一でである。 一でである。 一でである。 一でである。 一でである。 一でである。 一でである。 一でである。 一でである。 一でである。 一でである。 一でである。 一でである。 一でである。 一でである。 一でである。 一でである。 一でである。 一でである。 一でである。 一でである。 一でである。 一でである。 一でである。 一でである。 一でである。 一でである。 一でである。 一でである。 一でである。 一でである。 一でである。 一でである。 一でである。 一でである。 一でである。 一でである。 一でである。 一でである。 一でである。 一でである。 一でである。 一でである。 一でである。 一でである。 一でである。 一でである。 一でである。 一でである。 一でである。 一でである。 一でである。 一でである。 一でである。 一でである。 一でである。 一でである。 一でである。 一でである。 一でである。 一でである。 一でである。 一でである。 一でである。 一でである。 一でである。 一でである。 一でである。 一でである。 一でである。 一でである。 一でである。 一でである。 一でである。 一でである。 一でである。 一でである。 一でである。 一でである。 一でである。 一でである。 一でである。 一でである。 一でである。 一でである。 一でである。 一でである。 一でである。 一でである。 一でである。 一でである。 一でである。 一でである。 一でである。 一でである。 一でである。 一でである。 一でである。 一でである。 一でである。 一でである。 一でである。 一でである。 一でである。 一でである。 一でである。 一でである。 一でである。 一でである。 一でである。 一でである。 一でである。 一でである。 一でである。 一でである。 一でである。 一でである。 一でである。 一でである。 一でである。 一でである。 一でである。 一でである。 一でである。 一でである。 一でである。 一でである。 一でである。 一でである。 一でである。 一でである。 一でである。 一でである。 一でである。 一でである。 一でである。 一でである。 一でである。 一でである。 一でである。 一でである。 一でである。 一でである。 一でである。 一でである。 一でである。 一でである。 一でである。 一でである。 一でである。 一でである。 一でである。 一でである。 一でである。 一でである。 一でである。 一でである。 一でである。 一ででする。 一ででする。 一ででする。 一ででする。 一ででする。 一ででする。 一ででする。 一ででする。 一ででする。 一ででする。 一ででする。 一ででする。 一ででする。 一ででする。 一ででする。 一ででする。 一ででする。 一ででする。 一ででする。 一ででする。 一ででする。 一ででする。 一ででする。 一ででする。 一ででする。 一ででする。 一ででする。 一ででする。 一ででする。 一ででする。 一ででする。 一ででする。 一ででする。 一ででする。 一ででする。 一ででする。 一ででする。 一ででする。 一ででする。 一ででする。 一ででする。 一ででする。 一ででする。 一ででする。 一ででする。 一ででする。 一ででする。 一ででする。 一ででする。 一ででする。 一ででする。 一ででする。 一ででする。 一ででする。 一ででする。 一ででする。 一ででする。 一ででする。 一ででする。 一ででする。 一ででする。 一ででする。 一ででする。 一ででする。 一ででする。 一ででする。 一ででする。 一ででする。 一ででする。 一ででする。 一ででする。 一ででする。 一ででする。 一ででする。 一ででする。 一ででする。 一ででする。 一ででする。 一ででする。 一ででする。 一ででする。 一ででする。 一ででする。 一ででする。 一ででする。 一ででする。 一ででする。 一ででする。 一ででする。 一ででする。 一でででする。	出金 (情他) (A) (A) (A) (B) アイウアイウ	千円 千円 千円 千円 十 十 十 十 十 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	(決算·実績)  267 267 267 2 60 238 505 3.0 7,421.0	(決算見込·実績)  380 380 2 60 238 618 2.0 7,421.0	(予算・目標) 380 380 2 60 238 618 3.0	イミ   26年度 (次年度計画・E   33   3   3   3   3   6   6   1   1   1   1   1   1   1   1	80 80 2 60 38 18 3.0	(計画·目標) 38 38 (c) 23 61 7,421	30 30 2 30 38 8 8	380 380 380 2 60 238 618 3.0 7,421.0	(トータルコスト・	0 0
年間トータルコスト 国庫支出	出金 (他) (A) (A) (A) (B) アイウアイウア	千円 千円 千千円 千千八 時 十千 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	(決算·実績)  267 267 267 260 238 505 3.0	380 380 380 2 60 238 618	(予算・目標) 380 380 2 60 238 618 3.0	イミ   26年度 (次年度計画・E   33   3   3   3   3   6   6   1   1   1   1   1   1   1   1	80 80 2 60 38 18	(計画·目標) 38 38 (c) 23 61 7,421	30 30 2 30 38 8 8	380 380 380 2 60 238 618 3.0	(トータルコスト・	0 0
年間 事業費 大山 事業費 本でである。 「国庫支出方の でである。 一でである。 一でである。 一でである。 一でである。 一でである。 一でである。 一でである。 一でである。 一でである。 一でである。 一でである。 一でである。 一でである。 一でである。 一でである。 一でである。 一でである。 一でである。 一でである。 一でである。 一でである。 一でである。 一でである。 一でである。 一でである。 一でである。 一でである。 一でである。 一でである。 一でである。 一でである。 一でである。 一でである。 一でである。 一でである。 一でである。 一でである。 一でである。 一でである。 一でである。 一でである。 一でである。 一でである。 一でである。 一でである。 一でである。 一でである。 一でである。 一でである。 一でである。 一でである。 一でである。 一でである。 一でである。 一でである。 一でである。 一でである。 一でである。 一でである。 一でである。 一でである。 一でである。 一でである。 一でである。 一でである。 一でである。 一でである。 一でである。 一でである。 一でである。 一でである。 一でである。 一でである。 一でである。 一でである。 一でである。 一でである。 一でである。 一でである。 一でである。 一でである。 一でである。 一でである。 一でである。 一でである。 一でである。 一でである。 一でである。 一でである。 一でである。 一でである。 一でである。 一でである。 一でである。 一でである。 一でである。 一でである。 一でである。 一でである。 一でである。 一でである。 一でである。 一でである。 一でである。 一でである。 一でである。 一でである。 一でである。 一でである。 一でである。 一でである。 一でである。 一でである。 一でである。 一でである。 一でである。 一でである。 一でである。 一でである。 一でである。 一でである。 一でである。 一でである。 一でである。 一でである。 一でである。 一でである。 一でである。 一でである。 一でである。 一でである。 一でである。 一でである。 一でである。 一でである。 一でである。 一でである。 一でである。 一でである。 一でである。 一でである。 一でである。 一でである。 一でである。 一でである。 一でである。 一でである。 一でである。 一でである。 一でである。 一でである。 一でである。 一でである。 一でである。 一でである。 一でである。 一でである。 一でである。 一でである。 一ででする。 一ででする。 一ででする。 一ででする。 一ででする。 一ででする。 一ででする。 一ででする。 一ででする。 一ででする。 一ででする。 一ででする。 一ででする。 一ででする。 一ででする。 一ででする。 一ででする。 一ででする。 一ででする。 一ででする。 一ででする。 一ででする。 一ででする。 一ででする。 一ででする。 一ででする。 一ででする。 一ででする。 一ででする。 一ででする。 一ででする。 一ででする。 一ででする。 一ででする。 一ででする。 一ででする。 一ででする。 一ででする。 一ででする。 一ででする。 一ででする。 一ででする。 一ででする。 一ででする。 一ででする。 一ででする。 一ででする。 一ででする。 一ででする。 一ででする。 一ででする。 一ででする。 一ででする。 一ででする。 一ででする。 一ででする。 一ででする。 一ででする。 一ででする。 一ででする。 一ででする。 一ででする。 一ででする。 一ででする。 一ででする。 一ででする。 一ででする。 一ででする。 一ででする。 一ででする。 一ででする。 一ででする。 一ででする。 一ででする。 一ででする。 一ででする。 一ででする。 一ででする。 一ででする。 一ででする。 一ででする。 一ででする。 一ででする。 一ででする。 一ででする。 一ででする。 一ででする。 一ででする。 一ででする。 一ででする。 一でででする。	出金 (他) (A) (A) (A) (B) アイウアイウア	千円 千円 千円 千円 十 十 十 十 十 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	(決算·実績)  267 267 267 2 60 238 505 3.0 7,421.0	(決算見込·実績)  380 380 2 60 238 618 2.0 7,421.0	(予算・目標) 380 380 2 60 238 618 3.0	イミ   26年度 (次年度計画・E   33   3   3   3   3   6   6   1   1   1   1   1   1   1   1	80 80 2 60 38 18 3.0	(計画·目標) 38 38 (c) 23 61 7,421	30 30 2 30 38 8 8	380 380 380 2 60 238 618 3.0 7,421.0	(トータルコスト・	0 0
年間トータルコスト 国庫支出	出金 (情他) (A) (A) (A) (B) アイウアイウ	千円 千円 千円 千円 十 十 十 十 十 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	(決算·実績)  267 267 267 2 60 238 505 3.0 7,421.0	(決算見込·実績)  380 380 2 60 238 618 2.0 7,421.0	(予算・目標) 380 380 2 60 238 618 3.0	イミ   26年度 (次年度計画・E   33   3   3   3   3   6   6   1   1   1   1   1   1   1   1	80 80 2 60 38 18 3.0	(計画·目標) 38 38 (c) 23 61 7,421	30 30 2 30 38 8 8	380 380 380 2 60 238 618 3.0 7,421.0	(トータルコスト・	0 0
年間トータルコスト 財源内訳 事業費 人件費 人件費 (A) 標準 が 果 指標 様標 が 乗 指標	出金 (M) (A) (B) アイウアイウ	千円         千円         千円         千円         千円         時間         千円         回         ha         件	(決算·実績)  267 267 267 2 60 238 505 3.0 7,421.0	(決算見込·実績)  380 380 2 60 238 618 2.0 7,421.0	(予算・目標) 380 380 2 60 238 618 3.0	イミ   26年度 (次年度計画・E   33   3   3   3   3   6   6   1   1   1   1   1   1   1   1	80 80 2 60 38 18 3.0	(計画·目標) 38 38 (c) 23 61 7,421	30 30 2 30 38 8 8	380 380 380 2 60 238 618 3.0 7,421.0	(トータルコスト・	0 0
年間トータルコスト 国庫支出	出金 (他) (A) (A) (A) (B) アイウアイウア	千円 千円 千円 千円 十 十 十 十 十 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	(決算·実績)  267 267 267 2 60 238 505 3.0 7,421.0	(決算見込·実績)  380 380 2 60 238 618 2.0 7,421.0	(予算・目標) 380 380 2 60 238 618 3.0 7,421.0	イミ   26年度 (次年度計画・E   33   3   3   3   3   6   6   1   1   1   1   1   1   1   1	80 80 2 60 38 18 3.0	(計画·目標) 38 38 (c) 23 61 7,421	30 30 2 30 38 8 8	380 380 380 2 60 238 618 3.0 7,421.0	(トータルコスト・	目標 0 0
年間トータルコスト    本書	出金 (他 が (A) 数 (B) アイウアイウアイ	千円         千円         千円         千円         千円         千円         千円         中         ha         件	(決算·実績)  267 267 267 2 60 238 505 3.0 7,421.0	(決算見込·実績)  380 380 380 2 60 238 618 2.0 7,421.0	(予算・目標) 380 380 2 60 238 618 3.0 7,421.0	イミ   26年度 (次年度計画・E   33   3   3   3   3   6   6   1   1   1   1   1   1   1   1	80 80 2 60 38 18 3.0	(計画·目標) 38 38 (c) 23 61 7,421	30 30 2 30 38 8 8	380 380 380 2 60 238 618 3.0 7,421.0	(トータルコスト・	目標 0 0
年間トータルコスト 財源内訳 事業 単元 (A) 上位 成果 指標 (3) この事務 (3) この事 (5) まで (5) まで (4) まで (4) は (4)	出金 (情他) (事人間) (ま) (ま) (ま) (ま) (ま) (ま) (ま) (ま) (ま) (ま	千円 千円 千円 千円 千円 十一 十二 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一	(決算・実績)  267 267 267 2 60 238 505 3.0 7,421.0 2.0 69.8 対象者・社会状況	(決算見込・実績)  380 380 380 2 60 238 618 2.0 7,421.0 1.0 69.7	(予算·目標)  380 380 20 60 238 618 3.0 7,421.0 2.0	イミ   26年度 (次年度計画・E   33   33   3   3   3   3   3   4   3   4   4	80 80 2 60 38 18 1.0	(計画·目標) 38 38 23 61 7,421	30 30 2 30 38 8 8 8 3.0	380 380 380 2 60 238 618 3.0 7,421.0	(トータルコスト・	目標 0 0
年間トータルコスト	出金 (情他) (事人間) (ま) (ま) (ま) (ま) (ま) (ま) (ま) (ま) (ま) (ま	千円 千円 千円 千円 千円 十一 十二 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一	(決算·実績)  267 267 267 2 60 238 505 3.0 7,421.0	(決算見込・実績)  380 380 380 2 60 238 618 2.0 7,421.0 1.0 69.7	(予算·目標)  380 380 20 60 238 618 3.0 7,421.0 2.0	イミ   26年度 (次年度計画・E   33   33   3   3   3   3   3   4   3   4   4	80 80 2 60 38 18 1.0	(計画·目標) 38 38 23 61 7,421	30 30 2 30 38 8 8 8 3.0	380 380 380 2 60 238 618 3.0 7,421.0	(トータルコスト・	0 0
年間トータルコスト	出金 (情化) (A) (B) (B) (P) イウアイウアイ 巻ど	千円 千円円 千円円 千円円 千円円 千円回 ・・・・・・・・・・・・・・・・・	(決算・実績)  267 267 267 2 60 238 505 3.0 7,421.0 2.0 69.8 対象者・社会状況 幸で開始されたの	(決算見込・実績)  380 380 380 2 60 238 618 2.0 7,421.0 1.0 69.7	(予算・目標)  380 380 380 2 60 238 618 3.0 7,421.0 2.0    ここの	7.42	80 80 2 60 38 18 1.0 2.0	(計画・目標) 38 38 23 61 7,421	30 30 2 30 38 8 8 8 8 .0	380 380 380 2 60 238 618 3.0 7,421.0	(トータルコスト・	0 0 0
年間トータルコスト	出金 (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本)	千円円 千千円円 千千円円 千千円円 千千円回 ・ トロー・ トロー・ トロー・ トロー・ トロー・ トロー・ トロー・ トロー	(決算・実績) 267 267 267 2 60 238 505 3.0 7,421.0 2.0 69.8 対象者・社会状況 章で開始されたの きまたは5年前と比	(決算見込・実績)  380 380 380 2 60 238 618 2.0 7,421.0 1.0 69.7 2等)の変化、市J 都市計画法に定め	(予算・目標)  380 380 380 20 60 238 618 3.0 7,421.0 2.0  R意見等 Dられた自治事務を	7.42 7.42 7.42	880 2 660 38 18 1.0 2.0	(計画・目標) 38 38 23 (6) 7,421	30 30 2 30 38 8 8 3.0 0	380 380 380 2 60 238 618 3.( 7,421.( 2.c	こより事務負担	<ul><li>目標</li><li>の</li><li>の</li><li>が大</li></ul>
年間トータルコスト 財源の 事業 最計 で	出金 (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本)	千円円 千千円円 千千円円 千千円円 千千円回 ・ トロー・ トロー・ トロー・ トロー・ トロー・ トロー・ トロー・ トロー	(決算・実績) 267 267 267 2 60 238 505 3.0 7,421.0 2.0 69.8 対象者・社会状況 章で開始されたの きまたは5年前と比	(決算見込・実績)  380 380 380 2 60 238 618 2.0 7,421.0 1.0 69.7 2等)の変化、市J 都市計画法に定め	(予算・目標)  380 380 380 20 60 238 618 3.0 7,421.0 2.0  R意見等 Dられた自治事務を	7.42 7.42 7.42	880 2 660 38 18 1.0 2.0	(計画・目標) 38 38 23 (6) 7,421	30 30 2 30 38 8 8 3.0 0	380 380 380 2 60 238 618 3.( 7,421.( 2.c	こより事務負担	<ul><li>目標</li><li>の</li><li>の</li><li>が大</li></ul>
年間トータルコスト	出金 (Mana) (Mana) (Man	千円円 千千円円 千千円円 千千円円 千千円回 ・・・・・・・・・・・・・・・・	(決算・実績) 267 267 267 2 60 238 505 3.0 7,421.0 2.0 69.8 対象者・社会状況 章で開始されたの きまたは5年前と比	(決算見込・実績)  380 380 380 2 60 238 618 2.0 7,421.0 1.0 69.7 都市計画法に定め さく変動すると思わ	(予算・目標)  380 380 380 2 60 238 618 3.0 7,421.0 2.0  R意見等 Dられた自治事務を つられた。今年度も産り	イミ   26年度   (次年度計画・E   33   3   3   3   3   3   3   3   4   5   6   6   7,42   6   7,42   7,42   7,42   7,42   7,42   7,42   7,42   7,42   7,42   7,42   7,42   7,42   7,42   7,42   7,42   7,42   7,42   7,42   7,42   7,42   7,42   7,42   7,42   7,42   7,42   7,42   7,42   7,42   7,42   7,42   7,42   7,42   7,42   7,42   7,42   7,42   7,42   7,42   7,42   7,42   7,42   7,42   7,42   7,42   7,42   7,42   7,42   7,42   7,42   7,42   7,42   7,42   7,42   7,42   7,42   7,42   7,42   7,42   7,42   7,42   7,42   7,42   7,42   7,42   7,42   7,42   7,42   7,42   7,42   7,42   7,42   7,42   7,42   7,42   7,42   7,42   7,42   7,42   7,42   7,42   7,42   7,42   7,42   7,42   7,42   7,42   7,42   7,42   7,42   7,42   7,42   7,42   7,42   7,42   7,42   7,42   7,42   7,42   7,42   7,42   7,42   7,42   7,42   7,42   7,42   7,42   7,42   7,42   7,42   7,42   7,42   7,42   7,42   7,42   7,42   7,42   7,42   7,42   7,42   7,42   7,42   7,42   7,42   7,42   7,42   7,42   7,42   7,42   7,42   7,42   7,42   7,42   7,42   7,42   7,42   7,42   7,42   7,42   7,42   7,42   7,42   7,42   7,42   7,42   7,42   7,42   7,42   7,42   7,42   7,42   7,42   7,42   7,42   7,42   7,42   7,42   7,42   7,42   7,42   7,42   7,42   7,42   7,42   7,42   7,42   7,42   7,42   7,42   7,42   7,42   7,42   7,42   7,42   7,42   7,42   7,42   7,42   7,42   7,42   7,42   7,42   7,42   7,42   7,42   7,42   7,42   7,42   7,42   7,42   7,42   7,42   7,42   7,42   7,42   7,42   7,42   7,42   7,42   7,42   7,42   7,42   7,42   7,42   7,42   7,42   7,42   7,42   7,42   7,42   7,42   7,42   7,42   7,42   7,42   7,42   7,42   7,42   7,42   7,42   7,42   7,42   7,42   7,42   7,42   7,42   7,42   7,42   7,42   7,42   7,42   7,42   7,42   7,42   7,42   7,42   7,42   7,42   7,42   7,42   7,42   7,42   7,42   7,42   7,42   7,42   7,42   7,42   7,42   7,42   7,42   7,42   7,42   7,42   7,42   7,42   7,42   7,42   7,42   7,42   7,42   7,42   7,42   7,42   7,42   7,42   7,42   7,42   7,42   7,42   7,42   7,42   7,42   7,42   7,42   7,42   7,42   7,42   7,42   7,42   7,42	80 80 2 60 38 18 1.0 1.0	(計画・目標) 38 38 26 67 7,421 2 2 4 次ア・変更すったれており、今	30 30 2 30 38 8 8 3.0 0	380 380 380 2 60 238 618 3.( 7,421.( 2.( 2.( 2.( 2.( 3.( 3.( 3.( 3.( 3.( 3.( 3.( 3.( 3.( 3	(トータルコスト・	目標 0 0 0 0
年間トータルコスト	出って 金 金 金 (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本)	千円円円 千千円円 千千円円 千千円円 千千円円 千千円円 十千円円 十千円 中	(決算・実績) 267 267 267 2 60 238 505 3.0 7,421.0 2.0 69.8 対象者・社会状汚障で開始されたの 等または5年前と比後の予測は?	(決算見込・実績)  380 380 380 2 60 238 618 2.0 7,421.0 1.0 69.7 都市計画法に定め さく変動すると思わ	(予算・目標) 380 380 380 2 60 238 618 3.0 7,421.0 2.0  R意見等 らわた自治事務を行うさいる。今年度も産 両IC周辺の土地和	イミ   26年度   (次年度計画・E   33   3   3   3   3   3   3   3   3	80 80 2 60 38 18 1.0 1.0	(計画・目標) 38 38 26 67 7,421 2 2 4 次ア・変更すったれており、今	30 30 2 30 38 8 8 3.0 0	380 380 380 2 60 238 618 3.( 7,421.( 2.( 2.( 2.( 2.( 3.( 3.( 3.( 3.( 3.( 3.( 3.( 3.( 3.( 3	(トータルコスト・	目標 0 0 0 0
年間トータルコスト  財源内訳 事業 最	出って (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本)	千円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円	(決算・実績) 267 267 267 2 60 238 505 3.0 7,421.0 2.0 69.8 対象者・社会状汚障で開始されたの 等または5年前と比後の予測は?	(決算見込・実績)  380 380 380 2 60 238 618 2.0 7,421.0 1.0 69.7 群市計画法に定め 都市計画法に定め さく変動すると思わ 南アルプス・白根、	(予算・目標) 380 380 380 2 60 238 618 3.0 7,421.0 2.0  R意見等 らわた自治事務を行うさいる。今年度も産 両IC周辺の土地和	イミ   26年度   (次年度計画・E   33   3   3   3   3   3   3   3   3	80 80 2 60 38 18 1.0 1.0	(計画・目標) 38 38 26 67 7,421 2 2 4 次ア・変更すったれており、今	30 30 2 30 38 8 8 3.0 0	380 380 380 2 60 238 618 3.( 7,421.( 2.( 2.( 2.( 2.( 3.( 3.( 3.( 3.( 3.( 3.( 3.( 3.( 3.( 3	(トータルコスト・	目標 0 0 0 0
年間トータルコスト 国庫支 (3) この事務事業化して対なを取りたの事務がある。 事務のよう では、事務のようで、では、事務のようで、では、事務のようで、では、事務のようで、では、事務のようで、では、対して、事務のようで、では、対して、事務のようで、では、対して、事務のようで、では、対して、事務のようで、事務のようで、では、対して、対して、対して、対して、対して、対して、対して、対して、対して、対して	出金 (他) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本	千円円円 千千円円 千千円円 千千円円 十千円円 十千円回 ha ha 体	(決算・実績) 267 267 267 2 60 238 505 3.0 7,421.0 2.0 69.8 対象者・社会状汚障で開始されたの 等または5年前と比後の予測は?	(決算見込・実績)  380 380 380 2 60 238 618 2.0 7,421.0 1.0 69.7 都市計画法に定め 都市計画法に定め きく変動すると思え 南アルブス・白根、の選定にも関心は	(予算・目標)  380 380 380 2 60 238 618 3.0 7,421.0 2.0  このものでは、このでは、このでは、このでは、このでは、このでは、このでは、このでは、こ	イミ   26年度   (次年度計画・E   3   3   3   3   3   3   3   3   3	80 80 2 60 38 18 3.0 1.0 2.0	(計画・目標) 38 38 38 6 23 61 7,421 2 2 2 2 2 まっている。 3	30 30 2 30 38 8 8 3.0 .0 .0 .0 .0 .0 .0 .0    	380 380 380 28 60 238 618 3.0 7,421.0 2.0 2.0 2.0 2.0 2.0 2.0 2.0 2.0 2.0 2	(トータルコスト・	目標 0 0 0 0
年間トータルコスト  財源内訳 事業 最	出金 (他) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本	千円円円 千千円円 千千円円 千千円円 十千円円 十千円回 ha ha 体	(決算・実績) 267 267 267 2 60 238 505 3.0 7,421.0 2.0 69.8 対象者・社会状汚障で開始されたの 等または5年前と比後の予測は?	(決算見込・実績)  380 380 380 2 60 238 618 2.0 7,421.0 1.0 69.7 2等)の変化、市J都市計画法に定め 都市計画法に定め 者でいプス・白根、の選定にも関心は	(予算・目標)  380 380 380 2 60 238 618 3.0 7,421.0 2.0  このものでは、このでは、このでは、このでは、このでは、このでは、このでは、このでは、こ	イ! 26年度 (次年度計画・E (次年度計画・E  3 3 3 7,42  行うもので、平局 のので変化は無 をの計画決定が 引用について関  容↓】 ▼	80 80 2 60 38 18 3.0 1.0 2.0 以外が、 シングで シングで シングで シングで シングで シングで シングで シングで	(計画・目標) 38 38 38 23 61 7,421 2 2 4 次の合併時に 決定・変更すったれており、今まっている。 3	30 30 2 30 38 8 8 8 3.0 .0 .0 .0 .0 .0     	380 380 380 28 60 238 618 3.0 7,421.0 2.0 2.0 2.1 2.1 2.1 2.1 2.1 2.1 2.1 2.1 3.1 3.1 3.1 3.1 3.1 3.1 3.1 3.1 3.1 3	(トータルコスト・	が大きの定地
年間トータルコスト    国庫支打方の順   東側   東側   東側   東側   東側   東側   東側   東	出って 出って はった は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、	千千千人間 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	(決算・実績)  267 267 267 260 238 505 3.0 7,421.0 2.0 69.8 対象者・社会状汚障で開始されたの 詩または5年前と比後の予測は? 事業対象者、議会られているか?	(決算見込・実績)  380 380 380 2 60 238 618 2.0 7,421.0 1.0 69.7 都市計画法に定め 都市計画法に定め オアルプス・白根、の選定にも関心は 取り組み 都市計画法に定め	(予算・目標)  380 380 380 2 60 238 618 3.0 7,421.0 2.0    この	イ: 26年度 (次年度計画・E (次年度計画・E  3 3 3 7,42  行うもので、平月 ので変化は無 発の計画決定が 川用について関  容↓】 ▼	80 80 2 60 38 18 3.0 1.0 2.0 以外が、 シンが、 シンが、 シンが、 シンが、 シンが、 シンが、 シンが、 シン	(計画・目標) 38 38 38 (6) (7,42) (7,42) (2) (2) (3) (4) (4) (5) (7,42) (5) (6) (7,42) (7,42) (7,42) (7,42) (7,42) (8) (8) (9) (9) (9) (9) (9) (9) (9) (9) (9) (9	30 30 2 30 38 8 8 3.0 0 0 0 	380 380 380 28 60 238 618 3.0 7,421.0 2.0 2.0 2.0 2.0 2.0 2.0 2.0 2.0 2.0 2	(トータルコスト・ (トータルコスト・ (トータルコスト・ (トータルコスト・ 等により事務負担) 等により事務量 (に伴う建設予定 (また)を表して、(資料)	が大なのを主地
年間トータルコスト    財源内訳   事業費	出って 金 金 金 金 で は の は の は の は の は の の の は の の の の の の の の の の の の の	千千千人間 一十千千人間 一十千千人間 一十千年回 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	(決算・実績)  267 267 267 267 238 505 3.0 7,421.0 2.0 69.8 対象者・社会状汚障で開始されたの 詩または5年前と比後の予測は? 事業対象者、議会られているか?	(決算見込・実績)  380 380 380 2 60 238 618 2.0 7,421.0 1.0 69.7 都市計画法に定め 都市計画法に定め おうと思え 南アルプス・白根、の選定にも関心は <b>取り組み</b> 都市計画法に定め 都市計画法に定め 事前配布や女性 事	(予算・目標)  380 380 380 2 60 238 618 3.0 7,421.0 2.0  このものでは、このでは、このでは、このでは、このでは、このでは、このでは、このでは、こ	イ: 26年度 (次年度計画・E (次年度計画・E  3 3 3 7,42  行うもので、平月 ので変化は無 発の計画決定が 川用について関  容↓】 ▼	80 80 2 60 38 18 3.0 1.0 2.0 以外が、 シンが、 シンが、 シンが、 シンが、 シンが、 シンが、 シンが、 シン	(計画・目標) 38 38 38 (6) (7,42) (7,42) (2) (2) (3) (4) (4) (5) (7,42) (5) (6) (7,42) (7,42) (7,42) (7,42) (7,42) (8) (8) (9) (9) (9) (9) (9) (9) (9) (9) (9) (9	30 30 2 30 38 8 8 3.0 0 0 0 	380 380 380 28 60 238 618 3.0 7,421.0 2.0 2.0 2.0 2.0 2.0 2.0 2.0 2.0 2.0 2	(トータルコスト・ (トータルコスト・ (トータルコスト・ (トータルコスト・ 等により事務負担) 等により事務量 (に伴う建設予定 (また)を表して、(資料)	が大なのを主地
年間トータルコスト    国庫支打方の順   東側   東側   東側   東側   東側   東側   東側   東	出って 金 金 金 金 で は の は の は の は の は の の の は の の の の の の の の の の の の の	千千千人間 一十千千人間 一十千千人間 一十千年回 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	(決算・実績)  267 267 267 267 238 505 3.0 7,421.0 2.0 69.8 対象者・社会状汚障で開始されたの 詩または5年前と比後の予測は? 事業対象者、議会られているか?	(決算見込・実績)  380 380 380 2 60 238 618 2.0 7,421.0 1.0 69.7 都市計画法に定め 都市計画法に定め オアルプス・白根、の選定にも関心は 取り組み 都市計画法に定め	(予算・目標)  380 380 380 2 60 238 618 3.0 7,421.0 2.0    この	イ: 26年度 (次年度計画・E (次年度計画・E  3 3 3 7,42  行うもので、平月 ので変化は無 発の計画決定が 川用について関  容↓】 ▼	80 80 2 60 38 18 3.0 1.0 2.0 以外が、 シンが、 シンが、 シンが、 シンが、 シンが、 シンが、 シンが、 シン	(計画・目標) 38 38 38 (6) (7,42) (7,42) (2) (2) (3) (4) (4) (5) (7,42) (5) (6) (7,42) (7,42) (7,42) (7,42) (7,42) (8) (8) (9) (9) (9) (9) (9) (9) (9) (9) (9) (9	30 30 2 30 38 8 8 3.0 0 0 0 	380 380 380 28 60 238 618 3.0 7,421.0 2.0 2.0 2.0 2.0 2.0 2.0 2.0 2.0 2.0 2	(トータルコスト・ (トータルコスト・ (トータルコスト・ (トータルコスト・ 等により事務負担) 等により事務量 (に伴う建設予定 (また)を表して、(資料)	が大なのを地
年間トータルコスト    財源内訳   事業費	出金債他が(A人間) アイウアイウアイ 巻ど にま者望	千円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円	(決算・実績)  267 267 267 2 60 238 505 3.0 7,421.0 2.0 69.8 対象者・社会状が達で開始されたの ままたは5年前と比後の予測は? 事業対象者、議会られているか?	(決算見込・実績)  380 380 380 2 60 238 618 2.0 7,421.0 1.0 69.7 都市計画法に定め 都市計画法に定め おうと思え 南アルプス・白根、の選定にも関心は <b>取り組み</b> 都市計画法に定め 都市計画法に定め 事前配布や女性 事	(予算・目標)  380 380 380 2 60 238 618 3.0 7,421.0 2.0    この	イ: 26年度 (次年度計画・E (次年度計画・E  3 3 3 7,42  行うもので、平月 ので変化は無 発の計画決定が 川用について関  容↓】 ▼	80 80 2 60 38 18 3.0 1.0 2.0 以外が、 シンが、 シンが、 シンが、 シンが、 シンが、 シンが、 シンが、 シン	(計画・目標) 38 38 38 (6) (7,42) (7,42) (2) (2) (3) (4) (4) (5) (7,42) (5) (6) (7,42) (7,42) (7,42) (7,42) (7,42) (8) (8) (9) (9) (9) (9) (9) (9) (9) (9) (9) (9	30 30 2 30 38 8 8 3.0 0 0 0 	380 380 380 28 60 238 618 3.0 7,421.0 2.0 2.0 2.0 2.0 2.0 2.0 2.0 2.0 2.0 2	(トータルコスト・ (トータルコスト・ (トータルコスト・ (トータルコスト・ 等により事務負担) 等により事務量 (に伴う建設予定 (また)を表して、(資料)	が大なのを地

	事務事業名	都市計画審議会運営事業	所属部	建設部	所属課	都市計画課			
2	評価(Check1)担当者による	<b>事後評価</b> (複数年度事業は途中)							
	①政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系の 施策に結びつき、貢献しているか?意図 が上位目的に結びついているか?	結びついていない(見直し余地がある) ⇒【理由↓】⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映							
的	② 公共関与の妥当性 この事務事業を税金を投入して市が行わなければならないのか?	<ul><li>□ 見直し余地がある ⇒【理由↓】</li><li>☑ 妥当である ⇒【理由↓】</li><li>法に基づく審議会の運営であるため。</li></ul>		k2)・4今後の方	う向性に反映				
性評	民間やNPO、市民協働に移行すること は可能か?	事務事業の全部もしくは一部を外部に移行することが可能である。 □ 民間・NPO □ 市民協働 □ 見直し余地がある ⇒ 【理由 ↓ 】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 □ 適切である ⇒ 【理由 ↓ 】 良好な住環境を保全し、計画的な土地利用を推進していくためには、継続していく必要があり、見直す余地は無い。							
	③ 維持・継続の妥当性 現状の対象と意図、成果から考えて、こ の事務事業を将来にわたり、維持・継続 していくことは妥当か?目的や事業の必 要性を見直す余地はあるか?								
	④ 成果の向上余地 今後さらに事務事業の成果を向上させる ことはできるか?できない場合は何が原 因でできないのか?	□ ある程度向上余地がある ⇒【野 向上余地がない ⇒【野	里由↓】 ⇒ 3評価 里由↓】	(Check2)・4今 (Check2)・4今 ている。					
有	⑤ 類似事業との統廃合・連携の可能性	☑ 類似事務事業がある ⇒(類似する	事務事業の名称を記入↓	)					
効性評価	類似した目的を持つ事務事業が他にあるか?類似事務事業がある場合、その 事務事業との統合や連携を図ることはできるか?	□ 統合・連携ができる ⇒【理由と具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映							
	⑥ 休止・廃止した時の影響及び休止・廃止の可能性 この事務事業を休止・廃止した場合影響 はあるか?また成果から考えて、休止・ 廃止することはできるか?	<ul><li>▼ 影響なし</li><li>厂 影響あり ⇒【理由と影響の内容</li><li>法に基づく審議会の運営であるから計画</li><li>進に影響が出る。</li></ul>	:↓】 <b>▽</b> i的な土地利用の推 法に 市計		<b>・ ⇒【理由↓】</b> 営であるから、法の 出来なくなるため、	の改正や事業に係る都 計画的な土地利用の			
	⑦事業費の削減余地	<ul><li>☑ 削減余地がある ⇒【理由・具</li><li>□ 削減余地がない ⇒【理由↓】</li></ul>	体案↓】 ⇒ 3割	平価(Check2)・		に反映			
効率性	きないか?(仕様や工法の適正化、住民 の協力など)	開催予定回数は近隣自治体と同様であ 会代表の委員数の削減を検討する。	の、削減の余地は無いが、						
評価	⑧ 人件費の削減余地 成果を下げず人件費を削減できない か?(事業のやり方の見直しによる業務 時間の削減や臨時職員対応や外部委計 による削減はできるか?)	□ 削減余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 削減余地がない ⇒【理由↓】 案件の内容等により事務量が大きく変化するため、今後の両IC周辺及び新庁舎建設予定地の土地利用に基づく用途地域の 拡大等により事務量の増加が見込まれる中、審議会の開催を出来る限り平日の昼間に行う事により、職員の時間外手当の削減を行っている。							
平性評	③ 受益機会・受益者負担の適正化余地 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていないか?受益者負担を見直す必要	Lesh							
ΙЩ	<u>はないか?公平公正か?</u> 評価(Check2)担当課管理者	したる評価結果と総括							
<u>(1)</u>	1次評価者としての評価結果 ① 目的妥当性 ☑ 適切 □ 見直	(2)1次評価の総括( 都市計画法に定められて から景観計画、まちづくり	事務事業を実施した結果。 設置されており、昨年まで 交付金事業の事後評価等	では廃棄物処理施	設の申請に基づき	審査していたが本年度			
		し余地あり							
	④ 公平性 ☑ 適切 □ 見直	し余地あり							
	今後の方向性(事務事業担当語			1/0\	가보 가보다	7.七白州			
_	<u>)今後の事務事業の方同性(Check</u> 廃止(目的妥当性①、②、③の結果)	1の結果から定める)・・・複数選択可 □ 事業統合・連携(有効性⑤の結	····		改革・改善によ	る力円性			
	休止(目的妥当性①、②、③の結果)	□ 成果向上(有効性④の結果)	□ 現状維持(全評価項		``	スト水準			
_	必要性検討(目的妥当性①、②、③の結 )改革改善案について	課) □ コスト削減(効率性⑦、⑧の結果	.)		│ <mark>・・・</mark> 削減 │ 向 │ ┌				
1=	事業自体は計画を立てたときに市民に説り	明しているのみでその後はしていないと思 今後、都市計画事業を広報等に記載し周		は設等実施す	成 果 維 持 進 低 下				
(4)	) 改革改善を実現する上で解決すべ	き課題とその解決策		(5)	※ 廃止·休止 ) <mark>事務事業優先</mark>	の場合は記入不要 <mark>度評価結果</mark>			
		ママック マップ マック	, ,		果優先度評価絲				

対象外

対象外

成果優先度評価結果

コスト削減優先度評価結果